

令和 7 年度

工 事 設 計 書

工 事 名：東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策工事

工 事 場 所：西伯郡大山町名和

鳥取県 西伯郡 大山町全図

工事位置図



記号

—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	● 町・村・区・町	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂
—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	○ 町界	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂
—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	○ 町界	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂
—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	○ 町界	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂
—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	○ 町界	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂
—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	○ 町界	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂
—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	○ 町界	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂
—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	○ 町界	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂
—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	○ 町界	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂
—— 1:50,000 地形図に準拠した等高線	○ 町界	○ 町界	△ 山頂	▽ 山頂	▽ 山頂

単位：箇所

「この地図は、国土院の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を縮刷したものである。」「(産別)鳥取県 西伯郡 大山町全図」

契 約 図 書

現場説明書

1

令和7年5月15日以降調達公告適用

工 程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____〔すること、しないこと〕。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____：_____～_____：_____とする。 ④（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑥（週休2日工事） 【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】（該当しない場合は削除） 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 【治山工事、林道工事】（該当しない場合は削除） 本工事は、鳥取県治山工事及び林道工事における週休2日の取得に要する費用計上実施要領（令和6年4月26日付第202400033117号森林・林業振興局長通知及び第202400031869号治山砂防課長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/317565.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。 【港湾工事、漁港工事】（該当しない場合は削除） 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 ただし、港湾工事及び漁港工事は、通期の週休2日の補正を適用しない。 そのため、月単位の週休2日に満たない場合、月単位の週休2日の補正係数を除し、請負代金額の減額変更を行う。
用地関係	①（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立本の置き場所） 工事用地内の立本は伐採し、_____に置くこと。
公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____

安全対策	① (交通安全施設等) 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A 人 交替要員 人 1日あたり合計 人 配置日数 日 工事全体合計 人・日 交通誘導員B 人 交替要員 人 1日あたり合計 人 配置日数 日 工事全体合計 人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。 また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	① (濁水処理) 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について(平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知)(https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosouseitudan.pdf)に基づいて適正に処理すること。
建設副産物の処理	【建設発生土(処理)】 ① (他工事等流用) 建設発生土は 市・町・村 地内の 工事現場に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。 ② (建設技術センター) 建設発生土は 市・町・村 地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。なお、処理費として1m³当り 円をセンターに支払うこと。センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上) ② (民間残土受入地) 建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。なお、処理費として1m³当り 円を に支払うこと。民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土砂、コーン指数300kN/m²以上) ④ (土質改良プラント) 建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離 km)するものとする。なお、処理費として1m³当り 円を に支払うこと。土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上) 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材(処理)】 ① (分別解体等) コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1m³当り 円 アスファルト塊 1m³当り 円 建設発生木材 1m³当り 円 ③ (他工事等流用) 〔建設発生土〕は、 大山 市・町・村 所子 地内 大山町定住促進住宅整備 工事で使用するものとする。

③ (バイオマス発電燃料加工施設への搬出)―

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、1 t 当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者(鳥取県)自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、[所有者(鳥取県)・伐採・運搬を行う者]により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④ (木材市場等へ売却)―

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤ (再資源化施設へ搬出)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称・
受入れ費用)

コンクリート塊 _____市・町・村_____地内の_____

(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

アスファルト塊 _____市・町・村_____地内の_____

(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

建設発生木材 _____市・町・村_____地内の_____

(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

その他(_____) _____市・町・村_____地内の_____

(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

(受入れ時間帯)

8時～17時(平日)

(受入れ条件)

ア 路盤材、土砂、金属片等の異物が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は300mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。

エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。

⑥ (最終処理等)―

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、その費用として1 t 当り_____円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦ (産業廃棄物の処理に係る税)―

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧ (伐木工の数量)

伐木工は伐木工歩掛(平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知)に基づき参考数量で算出しているので、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量(体積(空m3))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材 搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩ (マニフェスト)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	① (建設発生土の使用)―― _____工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。―― ② (再生資材の使用) ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。―― イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。―― ウ 再生クラッシュラン〔規格：Rc-30、40〕は、使用箇所：_____下層路盤、基礎砕石等_____に使用する。―― エ 再生コンクリート砂〔規格：RS_____〕は、使用箇所：_____に使用する。―― オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生密粒度AS13〕は、使用箇所：_____表層_____に使用する。―― カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。―― キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	① (農地の一時転用について)―― 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。―― 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】―― 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。―― ② (農地の賃貸借)―― ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村_____番地を賃貸借すること。―― イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。―― ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。―― エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。―― オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。――
その他	① (自社施工)―― 本工事においては、(※)_____工(_____工を除く)のうち少なくとも_____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。―― ※該当する細別(レベル4)を記載する。―― ② (工事名称) 工事標示板に記載する名称は、_____東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策工事_____とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。――

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。

イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔する・しない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。

ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事

イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）

ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事

エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）

オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。

重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。

なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、_____（対象工事の区分を記載）工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。

ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。

電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。

オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。

ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

- ア ~~建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。~~
~~通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ ）〕~~
 イ ~~ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。~~
~~本工事の 王で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格 t 吊）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用し、本工事の 王で使用を想定している高所作業車（規格 ）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用している。~~

⑫（現場環境改善）

~~【災害復旧工事以外】（該当しない場合は削除）~~

- ~~本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。~~
~~下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。~~
~~実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。~~
~~地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。~~
~~1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。~~
~~また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。~~

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等）
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

~~【災害復旧工事】（該当しない場合は削除）~~

- ~~現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。~~

⑬（熱中症対策）

- 熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
 また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

⑭ (現場管理費補正)―

―【治山工事、林道工事以外】(該当しない場合は削除)―

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

―【治山工事、林道工事】(該当しない場合は削除)―

本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

⑮ (日本芝生産地への配慮)―

日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア―〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。

イ―〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ―〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m²当り―円を見込んでいる。

⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])―

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)―

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱ (標示板の設置)―

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。

⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型])―【災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)】―

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。

⑳ (遠隔臨場)―

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。

㉑ (施工管理システム)―

本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>

その他

② ~~（快適トイレの試行）~~

1. ~~内容~~

~~受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。~~

~~（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。~~

~~【快適トイレに求める機能】~~

- ~~（１）洋式便器~~
- ~~（２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）~~
- ~~（３）臭い逆流防止機能~~
- ~~（４）容易に開かない施錠機能~~
- ~~（５）照明設備~~
- ~~（６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg以上とする）~~

~~【付属品として備えるもの】~~

- ~~（７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示~~
- ~~（８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫~~
- ~~（９）セーターボックス（女性用トイレに必ず設置）~~
- ~~（１０）鏡と手洗器~~
- ~~（１１）便座除菌クリーナー等の衛生用品~~

~~【推奨する仕様、付属品】~~

- ~~（１２）室内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）~~
- ~~（１３）擬音装置（機能を含む）~~
- ~~（１４）着替え台~~
- ~~（１５）臭気対策機能の多重化~~
- ~~（１６）室内温度の調整が可能な設備~~
- ~~（１７）小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）~~

2. ~~快適トイレに要する費用【災害復旧工事以外】（該当しない場合は削除）~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（１１）の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ２基/工事（施工箇所）※までとする。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、２基/工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

2. ~~快適トイレに要する費用【災害復旧工事】（該当しない場合は削除）~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（１１）の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ２基/工事（施工箇所）※までとする。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、２基/工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

3. ~~その他~~

~~快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。~~

その他

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	89 大山町 設計書 当初 07-*****-00001-10 0 1 実施単価 29 大山町（旧大山町） 00-07.08.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 契約保証区分 豪雪割増 工事価格端数処理 工期算定区分 週休二日補正係数	07 砂防，地すべり 00 率計上しない 01 金銭保証（0.04%） 01 豪雪割増あり 00 千円止め（土木） 01 算出する 01 週休二日補正なし				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
斜面对策						Y1D03 (レベル1)
	1		一式			明第0001 表
直接工事費						
共通仮設費						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費							
一般管理費計							
工事価格							
消費税相 当額							
工事費計							

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砂防土工					Y1D0301 (レヘル2)
		一式			
掘削工					Y1D030101 (レヘル3)
		一式			
掘削					Y1D03010101 (レヘル4)
		m3			
掘削 土砂 片切掘削					SPK24040001 00 A=1, B=2
	781	m3			単第0 -0001 表
埋戻し工					Y1D030103 (レヘル3)
		一式			
埋戻し					Y1D03010301 (レヘル4)
		m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満					SPK24040020 00 A=3, D=1
	13	m3			単第0 -0002 表
法面整形工					Y1D030107 (レヘル3)
		一式			
法面整形(切土部)					Y1D03010701 (レヘル4)
		m2			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面整形 切土部 現場制約有り レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土					SPK24040025 00 A=2, C=1, D=2, E=1
	392	m2			単第0 -0003 表
残土処理工					Y1D030109 (レハ`ル3)
		一式			
土砂等運搬					Y1D03010902 (レハ`ル4)
		m3			
小型不整地運搬車運搬 (2 t) (クローラ 2 t 級) 運搬距離40m					STF0200601 00 A=3, B=40, C=2, D=4, E=2
	775	m 3			単第0 -0004 表
積込 土砂 小規模(標準)					V0000000002 00
	775	m 3			単第0 -0006 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.5km以下(3.0km超)					SPK24040002 00 A=2, B=6, C=1, D=1, F=17
	775	m3			単第0 -0007 表
法面工					Y1D0303 (レハ`ル2)
		一式			
植生工					Y1D030301 (レハ`ル3)
		一式			
植生基材吹付					Y1D03030104 (レハ`ル4)
		m2			

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生基材吹付工 厚5cm [規]100m2未満						SS000271 00 A=3, B=5, D=1, E=1
		87	m2			単第0 -0008 表
法粋工						Y1D030303 (レヘル3)
			一式			
吹付粋						Y1D03030303 (レヘル4)
			m2			
ラス張工 [規]250m2以上500m2未満						SS000187 00 A=3, C=1
		305	m2			単第0 -0009 表
吹付粋工 梁断面_200×200 [規]250m以上500m未満						SS000185 00 A=2, B=2
		452	m			単第0 -0010 表
水切りモルタル						T0000000002 00
土木コスト情報2025年7月版141頁参照 天端コンクリート		4	m 3			
						T0000000003 00
土木コスト情報2025年7月版141頁参照 下端コンクリート		0.6	m 3			
						T0000000004 00
土木コスト情報2025年7月版141頁参照 目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm		0.4	m 3			
						SPK24040122 00 A=1, B=1
		0.6	m2			単第0 -0011 表

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	植生基材吹付工(枠内吹付) 厚5cm [規]100m2以上250m2未満					SS000271 00 A=3, B=4, D=1, E=2
		156	m2			単第0 -0012 表
	張コンクリート工					V0000000003 00
		1	一式			単第0 -0013 表
仮設工						Y1D0310 (レベル2)
			一式			
土留・仮締切工						Y1D031004 (レベル3)
			一式			
土のう積						Y1D03100420 (レベル4)
			m2			
	土のう拵え, 積立, 撤去工 小口並べ					S1012 00 A=1, B=1, C=1
		24	m2			単第0 -0016 表
	*** 単位当たり ***					
		1	式			

掘削
土砂 片切掘削

SPK24040001

施 工 単 価 表

単第0 -0001 表

頁0-0008

機械構成比： 10.05% 労務構成比： 84.73% 材料構成比： 5.22% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	10.05%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
普通作業員	74.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	10.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=2 片切掘削		

埋戻し

SPK24040020

最大埋戻幅1m以上4m未満

施工単価表

単第0 -0002 表

頁0-0009

機械構成比： 9.76%

労務構成比： 81.50%

材料構成比： 8.74%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3, 2011, 2014	8.18%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5～0.6t	1.48%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5～0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	39.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	15.79%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	8.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

埋戻し

SPK24040020

最大埋戻幅1m以上4m未満

施 工 単 価 表

単第0 -0002 表

頁0-0010

機械構成比： 9.76% 労務構成比： 81.50% 材料構成比： 8.74% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=3 最大埋戻幅1m以上4m未満			D=1 -(全ての費用)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	87.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土			C=1 現場制約有り E=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

小型不整地運搬車運搬（2 t）
（クローラ2 t級）

STF0200601

単第0 -0004 表

運搬距離40m

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不整地運搬車（賃料） クローラ式2．0 t級	1.00	日			STL0101401 単第0-0005 表 1
1時間当り運転経費	100				#01 2
1 m3・t 当り	100				#02 運転経費／運搬量Q
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m 3			
A=3 礫質土 C=2 機械による積込み E=2 待合わせ時間（標準2分）			B=40 運搬距離（m） D=4 積込み時間（分）（C＝2のとき入力）		
1時間当り運搬量 $Q = (60 * q * E) / CM$ $= (60 * 0.810 * 0.95) / 8.600 = 5.369 (t / h)$					
サイクルタイム $CM = 積込 + 運搬 + 待合 + 荷卸$ $= 4.000 + 1.600 + 2.000 + 1.000 = 8.600 (min)$					
運搬時間 $= 2 * L / V$ $= 2 * 40 / 50.000 = 1.600 (min)$					

施 工 単 価 表

STL0101401

単第0 -0005 表

1 日 当り

不整地運搬車（賃料）
クローラ式2.0t級

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	17.94	L			TTPC00013
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
<賃>不整地運搬車(クローラ型油圧式) 積載質量2.0t	2.18	供用日			KR0800
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
軽油(L) = 燃料消費量(L／時間) × 標準運転時間(T) 軽油(L) = 0.114 * 23.000 * 6.900 燃料消費量(L／時間) = 燃料消費率(L／kw・h) ' × 機関出力(KW) 燃料消費量(L／時間) = 0.114 * 23.000					

積込
土砂

V00000000002

施 工 単 価 表

単第0 -0006 表

頁0-0014

小規模(標準)

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	0.0378	時間			M0201113010
特殊運転手	0.0238	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.8804	L			TTPC00013
*** 単位当たり ***	1	m 3			

施工単価表

頁0-0015

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0007 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離3.5km以下(3.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 18.57% 労務構成比:

72.35%

材料構成比: 9.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
一般運転手	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=17 距離3.5km以下(3.0km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

植生基材吹付工
厚5cm

SS000271

[規]100m2未満

施 工 単 価 表

単第0 -0008 表

頁0-0016

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工 機械播種施工による植生工 植生基材吹付工 厚 5 c m	1.000	m ²			TS272
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=3 厚5cm D=1 -			B=5 [規]100m2未満 E=1 -		

施 工 単 価 表

SS000187

単第0 -0009 表

ラス張工
[規]250m2以上500m2未満

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吹付枠工 ラス張工	1.000	m ²			TS934
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=3 [規]250m2以上500m2未満			C=1 -		

施 工 単 価 表

SS000185

単第0 -0010 表

1 m 当り

吹付砕工
梁断面_200×200 [規]250m以上500m未満

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吹付砕工 モルタル・コンクリート 梁断面 200×200	1.000	m			TS929
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 梁断面_200×200			B=2 [規]250m以上500m未満		

施 工 単 価 表

頁0-0019

目 地 板

SPK24040122

単第0 -0011 表

1工事当り使用量30m2未満

瀝青繊維質目地板t=10mm

1

m2 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 63.93% 材料構成比： 36.07% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	47.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目 地 板 瀝青繊維質板 厚10mm	36.07%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板t=10mm		

植生基材吹付工(枠内吹付)
厚5cm

SS000271
[規]100m2以上250m2未満

施 工 単 価 表

単第0 -0012 表

頁0-0020

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工 機械播種施工による植生工 植生基材吹付工 厚 5 c m	1.000	m ²			TS272
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=3 厚5cm D=1 -			B=4 [規]100m2以上250m2未満 E=2 枠内吹付の場合		

張コンクリート工

V00000000003

施 工 単 価 表

単第0 -0013 表

頁0-0021

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	2.0	m3			SPK24040153 単第0-0014 表
型枠 一般型枠 小型構造物	2.0	m2			SPK24040155 単第0-0015 表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm	0.1	m2			SPK24040122 単第0-0011 表
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

SPK24040153

単第0 -0014 表

コンクリート

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3

当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 29.40%

材料構成比： 70.60%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施 工 単 価 表

S1012

単第0 -0016 表

10 m2 当り

土のう拵え, 積立, 撤去工
小口並べ

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂	3.400	m 3			F0000000001
土のう 4 8 × 6 2 c m	170.000	枚			T0802 化学繊維袋
普通作業員	7.140	人			RTPC00002
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 小口並べ C=1 【F】 土砂(m3)			B=1 土のう拵え, 積立, 撤去		
小口並べ 1 7 袋/m ² 普通作業員 = 0.042 * 17 * 10 = 7.140 (人) 土砂 = 17 * 0.02 (m3/袋) * 10 = 3.400 (m3)					

数 量 総 括 表
(一括)

数量総括表

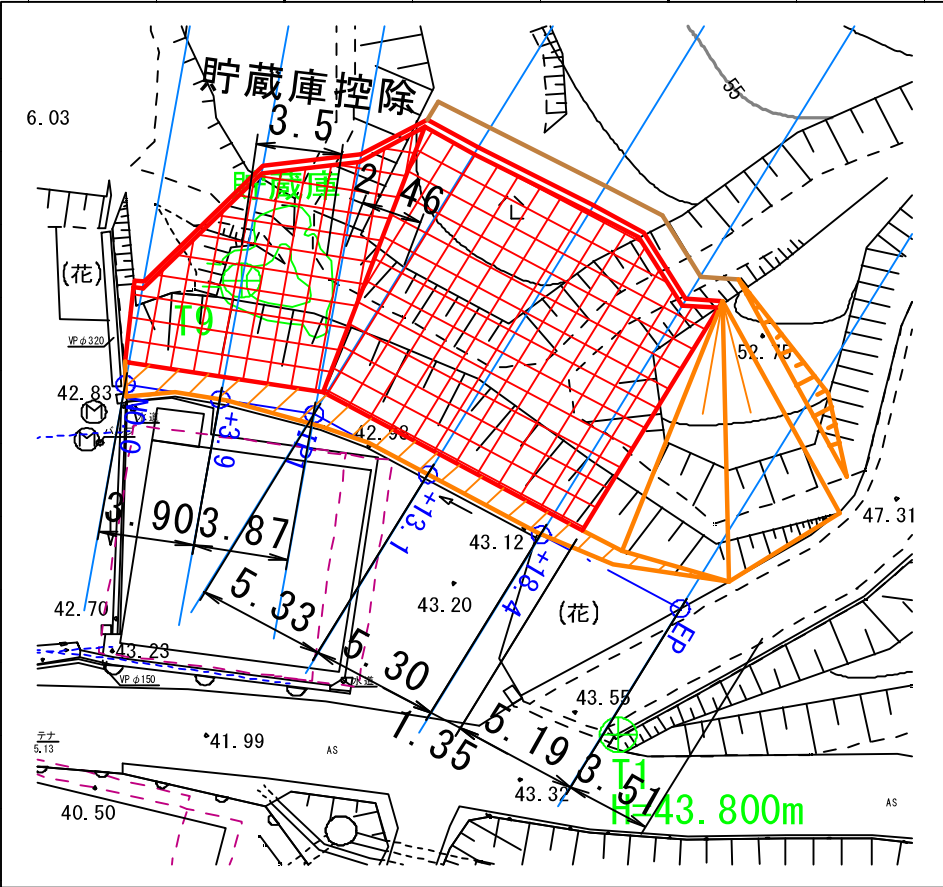
(1/1)

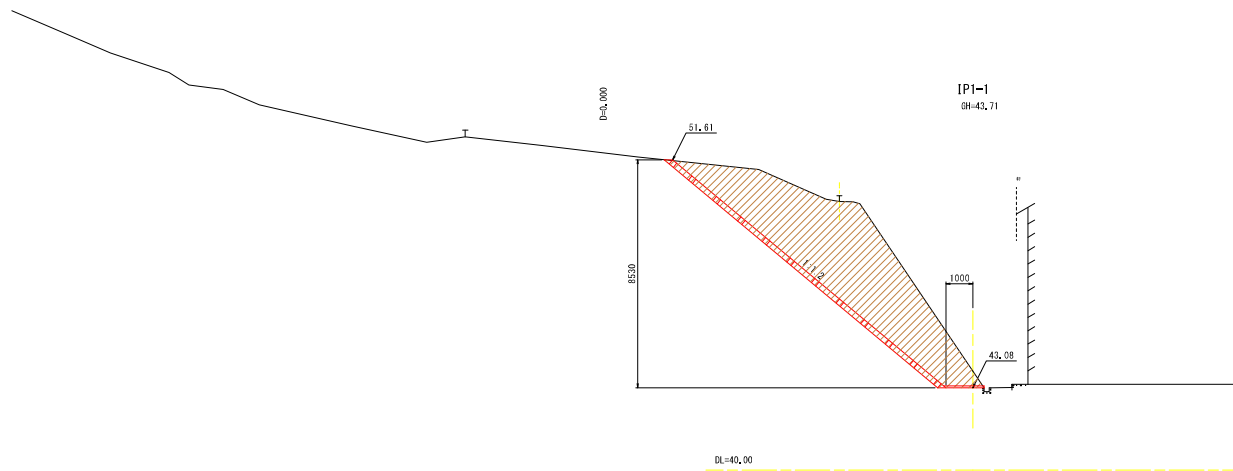
工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量	備考
斜面对策							
	砂防土工	掘削工	片切掘削	土砂 バックホウ0.1m3	m ³	781	
		作業土工	埋戻し	土砂 (最大埋戻幅1m以上4m未満)	m ³	13	
		法面整形工	法面整形	切土部、土砂	m ²	392	
		残土処理工	残土処分等	土砂	m ³	775	
			現場内小運搬	不整地運搬車2t	m ³	775	
			積み込み	バックホウ0.1m3	m ³	775	
	法面工	法枠工	吹付法枠工	□200-1500×1200	m	452	
			ラス張	#14 50×50	m ²	305	
			水切りモルタル		m ³	4	
			天端コンクリート		m ³	0.6	
			下端コンクリート		m ³	0.4	
			目地材	t=10mm	m ²	0.6	
			枠内植生基材 吹付工	t=5cm	m ²	156	
		植生工	植生基材 吹付工	切土部 t=5cm	m ²	87	
		張コンクリート工	コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ² t=7cm	m ³	2	
			型枠	小型構造物	m ²	2	
			目地材	t=10mm	m ²	0.1	
	仮設工	土のう工	土のう	62×48cm	m ²	24	

1. 砂 防 土 工

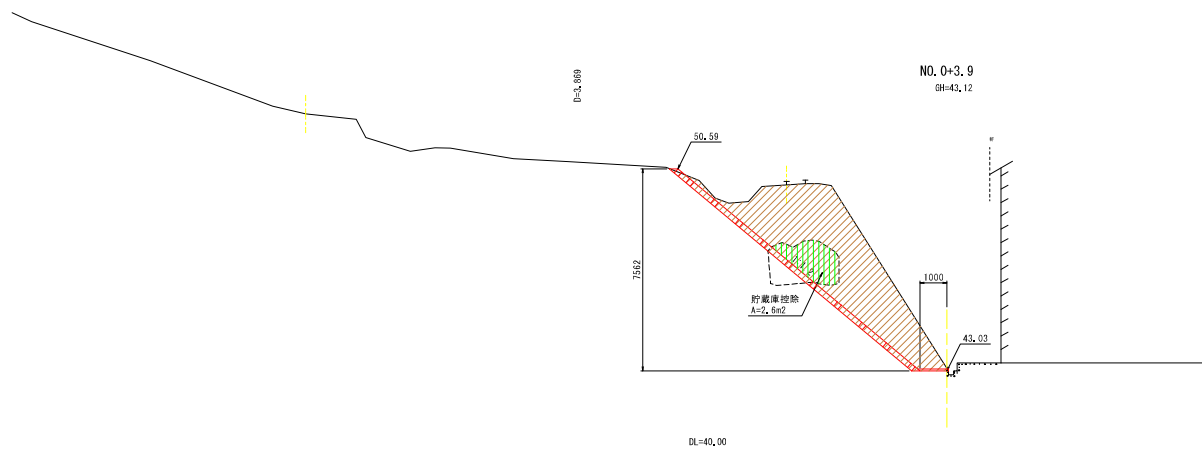
砂防土工 数量計算書

測点	種別	断面間 距離	修正 距離	片切掘削(土砂):C												摘 要
				A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)										
NO. 0		0.00		2.3	—	—										
NO. 0+3.9		3.90		22.5	12.40	48.4										
IP. 1-1		3.87		29.9	26.20	101.4										
IP. 1-2		2.46		35.4	32.65	80.3										
NO. 0+13.1		5.33		31.9	33.65	179.4										
NO. 0+18.4		5.30		31.4	31.65	167.7										
NO. 0+19.7		1.35		30.5	30.95	41.8										
EP		5.19		21.2	25.85	134.2										
		3.51		0.0	10.60	37.2										
				貯蔵庫控除 2.6 × 3.5 =		-9.1										
合計						781.3										

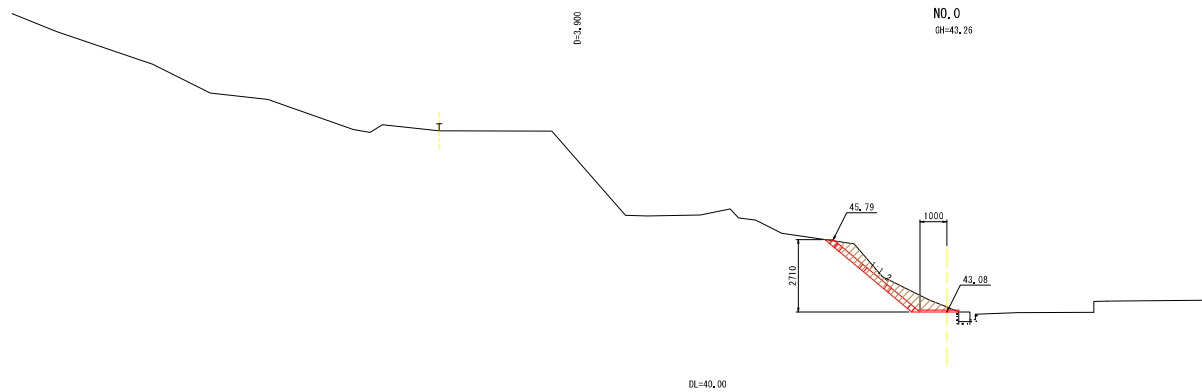




工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	29.9



工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	22.5

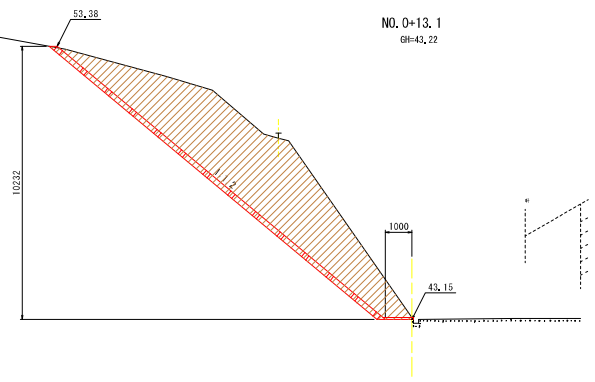


工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	2.3

NO. 0, NO. 0+3.9, IP1-1 1/3

工事名	東谷地区小規模急傾斜地面域対策事業		
図名	横断面図(1) (其の)		
位置	西伯郡大山町名和		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全 11 葉中の内 3		
令和	年度施行		
	大 山 町		

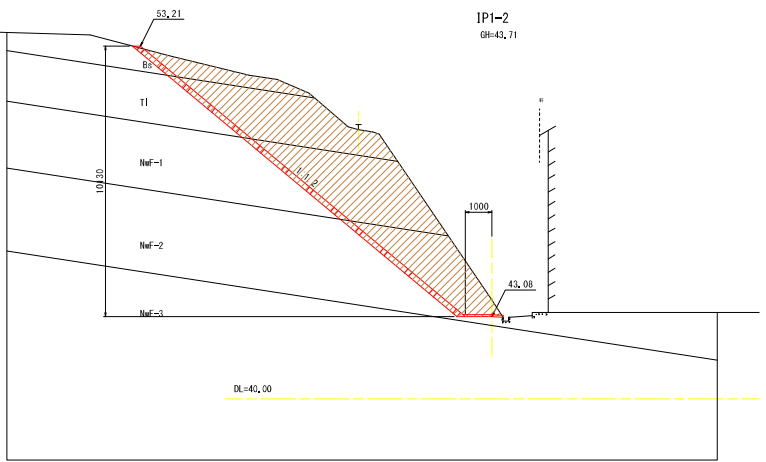
B=5,300



NO. 0+13.1
BH=43.22

工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	31.9

B=5,331



IP1-2
BH=43.71

工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	35.4

IP1-2, NO. 0+13.1 2/3

工事名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業		
図 名	横断面図(2) (其の)		
位 置	西伯郡大山町名和		
縮 尺	1:100	単 位	M
図 号	全 11 葉中の内 4		
令和	年度施行		
大 山 町			



工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	21.2

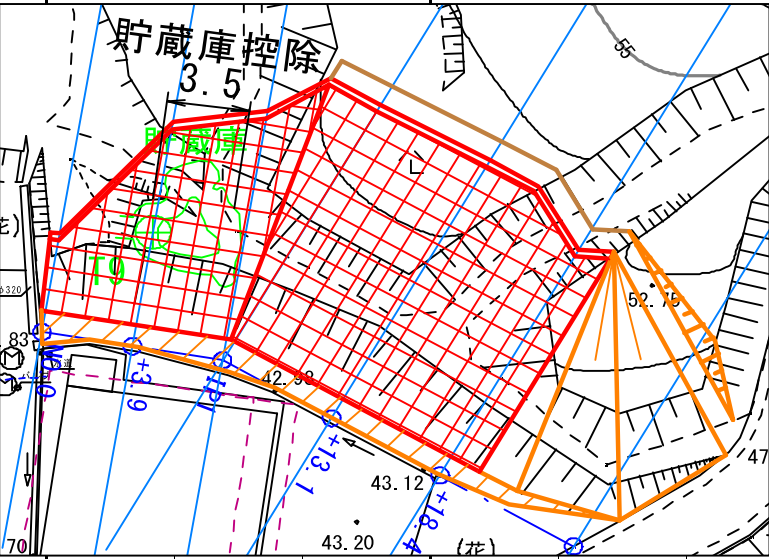
工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	31.4

工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	30.5

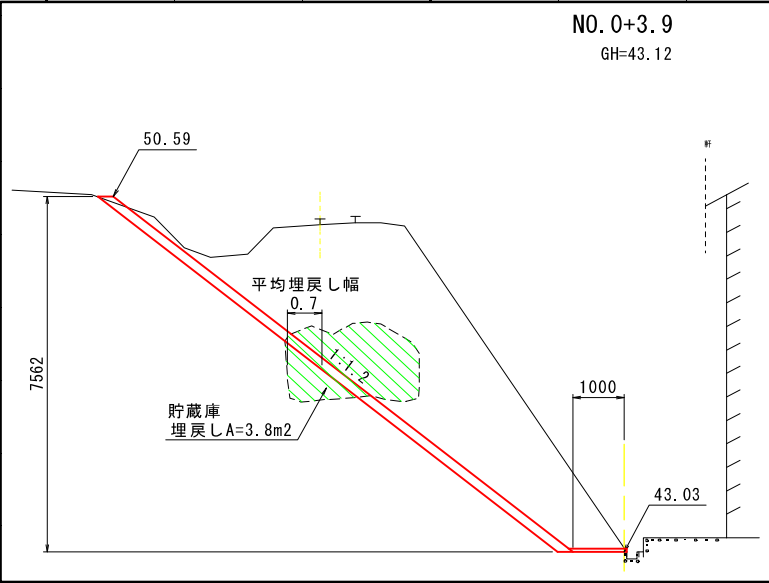
NO. 0+18.4, EP 3/3			
工事名	東谷地区小規模急傾斜地面域対策事業		
図名	横断面図(3) (其の)		
位置	西伯郡大山町名和		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全 11 葉中の内	5	
令和	年度施行		
	大 山 町		

砂防土工 数量計算書

測点	種別	断面間 距離 (m)	修正 距離 (m)	埋戻し(土砂)						
				A (m^2)	A/2 (m^2)	V (m^3)				
		3.5		3.8	—	13.3				
合計						m^3 13.3				



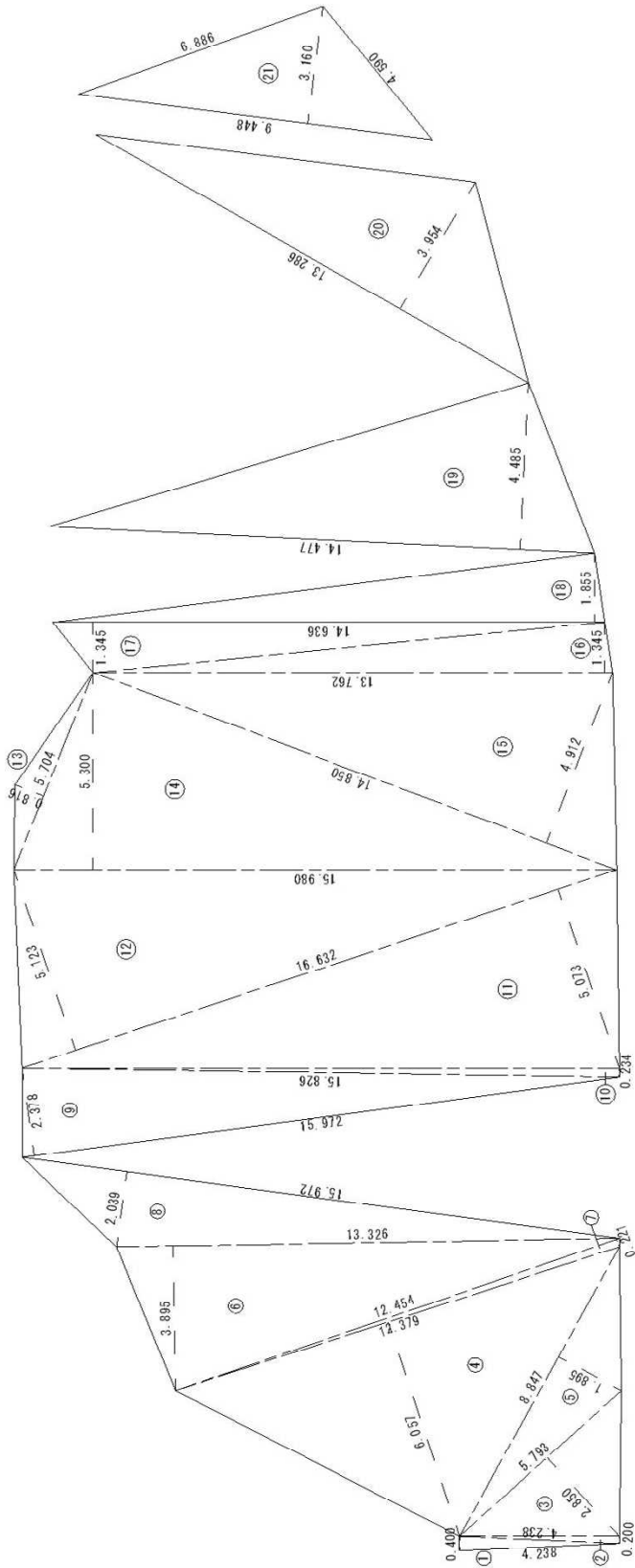
摘要



法面整形工 数量計算

1. 法面整形工(切土部、土砂)

A = 304.89 + 87.23 = 392.1 m2



NO.0+18.4

NO.0+13.1

IP.1

IP.1

NO.0+3.9

NO.0

記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
1	4.238	0.400	1.695
2	4.238	0.200	0.848
3	5.793	2.850	16.510
4	12.379	6.057	74.980
5	8.847	1.895	16.765
6	13.326	3.895	51.905
7	12.454	0.221	2.752
8	15.972	2.039	32.567
9	15.972	2.378	37.981
10	15.826	0.234	3.703
11	16.632	5.073	84.374
12	16.632	5.123	85.206
13	5.704	0.816	4.654
14	15.980	5.300	84.694
15	14.850	4.912	72.943
16	13.762	1.345	18.510
17	14.636	1.345	19.685
		倍面積 m ²	609.772
		面積 m ²	304.89

記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
18	14.636	1.855	27.150
19	14.477	4.485	64.929
20	13.286	3.954	52.533
21	9.448	3.160	29.856
		倍面積 m ²	174.468
		面積 m ²	87.23

土工 数量計算

1. 発生土

	土工	仮設工			合計
片切掘削	781.3				781.3
土のう		8.2			8.2
合計	781.3	8.2			789.5

2. 流用土

	土工				合計
埋戻し	13.3				13.3
合計	13.3				13.3

3. 残土処理工

土砂

$$V = 789.5 - 13.3 \times 1 / 0.9 = 774.7 \text{ m}^3$$

2. 法面工

(1/1)

[illegible]

法枠工 数量計算

1. 吹付法枠工 梁断面 200×200 , D13, H≤45m

$$\begin{aligned} A &= 304.89 &= 304.89 \text{ m}^2 \\ L &= 204.49 + 247.38 &= 451.87 \text{ m} \end{aligned}$$

2. ラス張 #14 50×50

$$A = 304.89 = 304.89 \text{ m}^2$$

3. 水切りモルタル

$$\begin{aligned} L &= 67.24 + 143.83 &= 211.07 \text{ m} \\ A &= 1/2 \times 0.240 \times 0.200 &= 0.02 \text{ m}^2 \\ V &= 211.07 \times 0.02 &= 4.22 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

4. 天端コンクリート

$$\begin{aligned} L &= 31.92 &= 31.92 \text{ m} \\ A &= 1/2 \times 0.240 \times 0.200 &= 0.02 \text{ m}^2 \\ V &= 31.92 \times 0.02 &= 0.64 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

5. 下端コンクリート

$$\begin{aligned} L &= 20.43 &= 20.43 \text{ m} \\ A &= 1/2 \times 0.240 \times 0.200 &= 0.02 \text{ m}^2 \\ V &= 20.43 \times 0.02 &= 0.41 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

6. 目地材 (t=10mm)

$$A = 0.60 = 0.60 \text{ m}^2$$

7. 枠内植生基材吹付工 t=5cm

$$A = 48.11 + 106.23 + 1.48 = 155.82 \text{ m}^2$$

吹付枠延長 1段目

番号	1段縦 長さ
縦1	3.80
縦2	4.37
縦3	6.97
縦4	10.20
縦5	11.56
縦6	12.15
縦7	12.83
縦8	3.59
縦9	4.50
縦10	15.47
縦11	15.18
縦12	15.22
縦13	15.27
縦14	15.29
縦15	15.27
縦16	15.24
縦17	14.32
縦18	13.26
縦19	
縦20	
縦21	
縦22	
縦23	
縦24	
縦25	
縦26	
縦27	
縦28	
縦29	
縦30	
縦31	
縦32	
縦33	
縦34	
縦35	
縦36	
縦37	
縦38	
縦39	
縦40	
小計	204.49

番号	1段縦 長さ
縦41	
縦42	
縦43	
縦44	
縦45	
縦46	
縦47	
縦48	
縦49	
縦50	
縦51	
縦52	
縦53	
縦54	
縦55	
縦56	
縦57	
縦58	
縦59	
縦60	
縦61	
縦62	
縦63	
縦64	
縦65	
縦66	
縦67	
縦68	
縦69	
縦70	
縦71	
縦72	
縦73	
縦74	
縦75	
縦76	
縦77	
縦78	
縦79	
縦80	
小計	0.00
合計	204.49

吹付枠寸法 0.20 m

番号	1段横 長さ	交点
横1	8.12	0
横2	8.13	6
横3	8.35	6
横4	8.57	6
横5	7.90	5
横6	7.44	5
横7	6.98	4
横8	6.52	4
横9	6.07	4
横10	5.53	3
横11	3.84	3
横12	1.60	1
横13	0.61	1
横14	16.33	0
横15	12.14	0
横16	12.08	8
横17	12.24	8
横18	12.41	8
横19	12.57	8
横20	12.74	8
横21	12.90	8
横22	13.07	8
横23	13.23	8
横24	13.39	8
横25	13.56	9
横26	13.72	9
横27	11.30	8
横28	15.24	0
横29		
横30		
横31		
横32		
横33		
横34		
横35		
横36		
横37		
横38		
横39		
横40		
合計	276.58	146
交点控除	146 × 0.2	29.20
横梁延長	276.58 - 29.2	247.38

水切りモルタル延長 1段目

番号	長さ(m)	個数	延長(m)
横1	0.32	1	0.32
横1	1.30	5	6.50
横2	0.38	1	0.38
横2	1.30	5	6.50
横2	0.09	1	0.09
横3	0.43	1	0.43
横3	1.30	5	6.50
横3	0.26	1	0.26
横4	0.18	1	0.18
横4	1.30	5	6.50
横4	0.42	1	0.42
横5	1.02	1	1.02
横5	1.30	4	5.20
横5	0.60	1	0.60
横6	0.40	1	0.40
横6	1.30	4	5.20
横6	0.75	1	0.75
横7	1.28	1	1.28
横7	1.30	3	3.90
横7	0.92	1	0.92
横8	0.66	1	0.66
横8	1.30	3	3.90
横8	1.08	1	1.08
横9	1.30	3	3.90
横9	1.24	1	1.24
横10	0.92	1	0.92
横10	1.30	3	3.90
横11	1.30	2	2.60
横11	0.07	1	0.07
横12	0.98	1	0.98
横12	0.24	1	0.24
横13	0.40	1	0.40
合計			67.24

水切りモルタル延長 1段目

番号	長さ(m)	個数	延長(m)
横15	1.30	7	9.10
横15	1.31	1	1.31
横16	0.11	1	0.11
横16	1.30	8	10.40
横17	0.27	1	0.27
横17	1.30	8	10.40
横18	0.44	1	0.44
横18	1.30	8	10.40
横19	0.60	1	0.60
横19	1.30	8	10.40
横20	0.77	1	0.77
横20	1.30	8	10.40
横21	0.93	1	0.93
横21	1.30	8	10.40
横22	1.10	1	1.10
横22	1.30	8	10.40
横23	1.26	1	1.26
横23	1.30	8	10.40
横24	1.30	9	11.70
横25	0.09	1	0.09
横25	1.30	9	11.70
横26	0.25	1	0.25
横26	1.30	8	10.40
横26	1.16	1	1.16
横27	0.42	1	0.42
横27	1.30	6	7.80
横27	1.22	1	1.22
合計			143.83

水切りモルタル延長

番号	長さ(m)	個数	延長(m)
合計			0.00

天端コンクリート

	延長 (m)				小計 (m)
1段目	31.92				31.92
2段目					
3段目					
合計					31.92

下端コンクリート

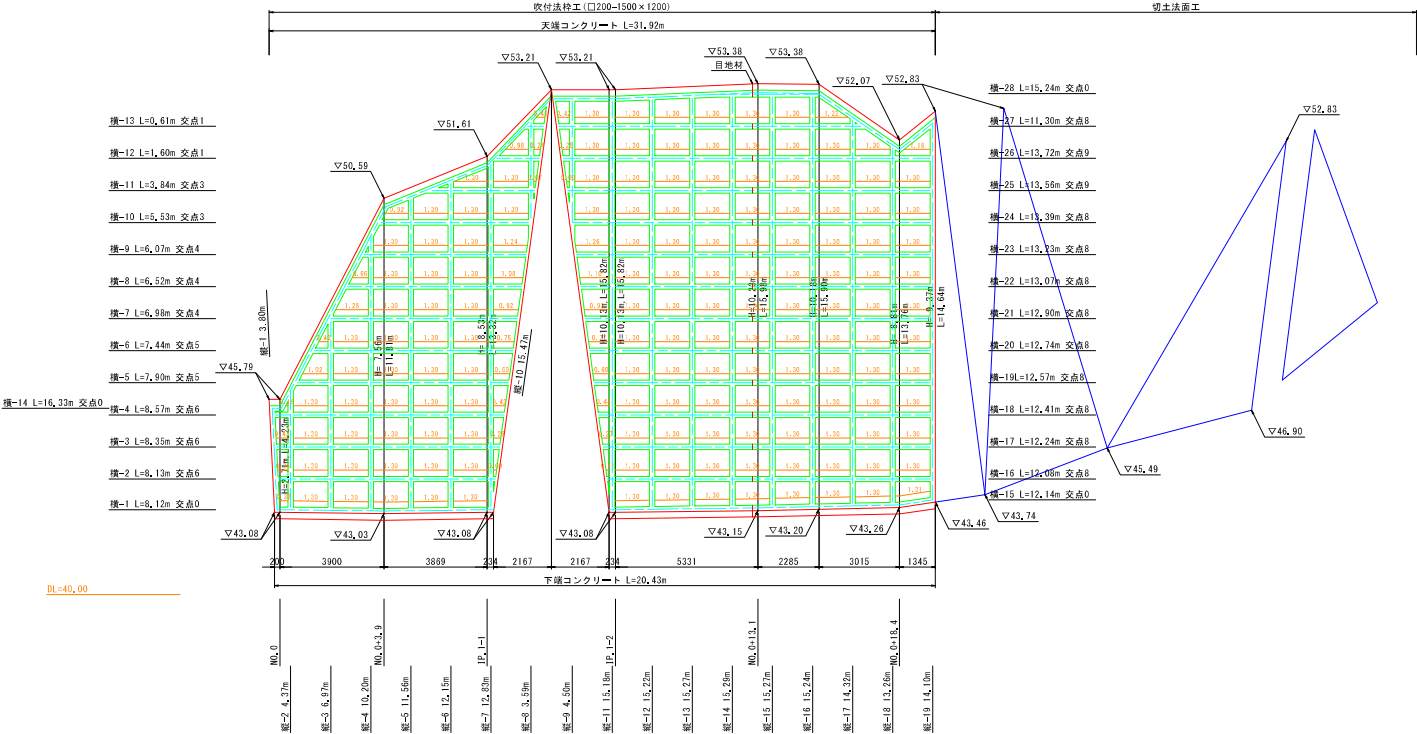
	延長 (m)				小計 (m)
1段目	20.43				20.43
2段目					
3段目					
合計					20.43

目地材

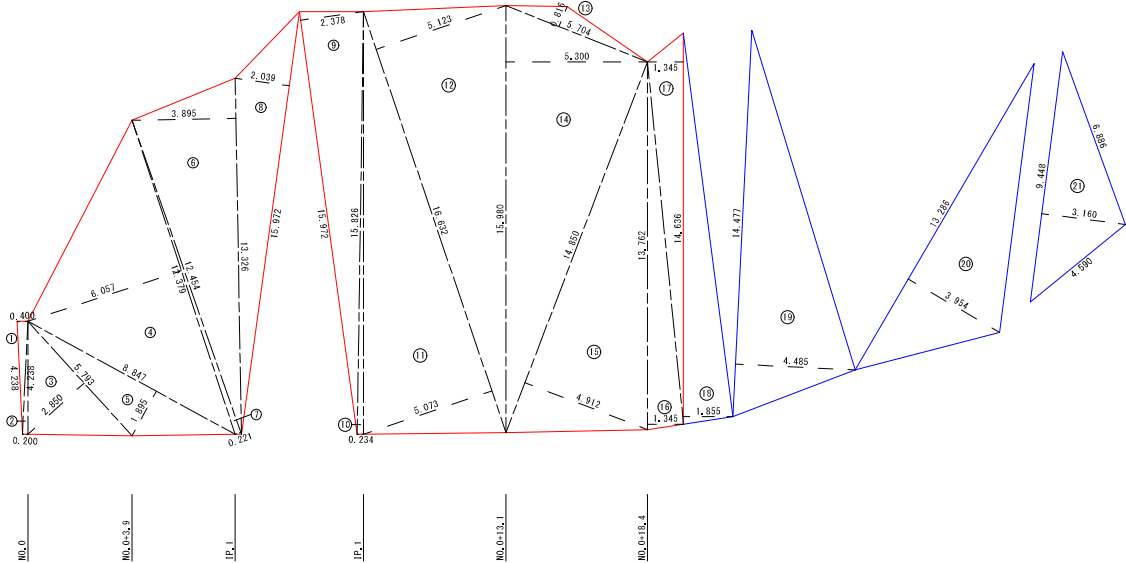
	断面積 a (m2)	箇所数 N (箇所)	合計 A (m2)
天端コンクリート部	0.02	1	0.02
法枠部 (□200)	0.04	14	0.56
下端コンクリート部	0.02	1	0.02
目地材面積			0.60

法面工展開図 S=1/100

水切り延長根拠図



DL=40.09



記号	底辺	高さ	倍面積 m
1	4,238	0,400	1,695
2	4,238	0,200	0,848
3	5,793	2,850	16,510
4	12,379	6,057	74,980
5	8,847	1,895	16,765
6	13,326	3,895	51,905
7	12,454	0,221	2,752
8	15,972	2,039	32,567
9	15,972	2,378	37,981
10	15,826	0,234	3,703
11	16,632	5,073	84,374
12	16,632	5,123	85,206
13	5,704	0,816	4,654
14	15,980	5,300	84,694
15	14,850	4,912	72,943
16	13,762	1,345	18,510
17	14,636	1,345	19,685
	倍面積 m		609,772
	面積 m		304,89

記号	底辺	高さ	倍面積 m
18	14,636	1,855	27,150
19	14,477	4,485	64,929
20	13,286	3,954	52,633
21	9,448	3,160	29,856
	倍面積 m		174,468
	面積 m		87,23

工事名	東谷地区小規模急傾斜地面域対策事業		
図名	法面工展開図 (其の)		
位置	西伯郡大山町名和		
縮尺	1:100	単位	M,MM
図号	全 11 葉中の内 6		
令和	年度施行		
	大 山 町		

桙内吹付面積 1段目

番号	面積 (m2)	個数	面積 (m2)
横1	0.25	1	0.25
横1	0.94	1	0.94
横1	0.97	1	0.97
横1	0.98	1	0.98
横1	0.96	1	0.96
横1	0.93	1	0.93
横1	0.01	1	0.01
横2	0.30	1	0.30
横2	0.99	5	4.95
横2	0.12	1	0.12
横3	0.35	1	0.35
横3	0.99	5	4.95
横3	0.25	1	0.25
横4	0.01	1	0.01
横4	0.98	1	0.98
横4	0.99	4	3.96
横4	0.37	1	0.37
横5	0.58	1	0.58
横5	0.99	4	3.96
横5	0.50	1	0.50
横6	0.11	1	0.11
横6	0.99	4	3.96
横6	0.62	1	0.62
横7	0.78	1	0.78
横7	0.99	3	2.97
横7	0.75	1	0.75
横8	0.30	1	0.30
横8	0.99	3	2.97
横8	0.87	1	0.87
横9	0.01	1	0.01
横9	0.94	1	0.94
横9	0.99	2	1.98
横9	0.98	1	0.98
横10	0.27	1	0.27
横10	0.95	1	0.95
横10	0.99	2	1.98
横10	0.01	1	0.01
横11	0.03	1	0.03
横11	0.32	1	0.32
横11	0.99	1	0.99
合計			48.11

桙内吹付面積 1段目

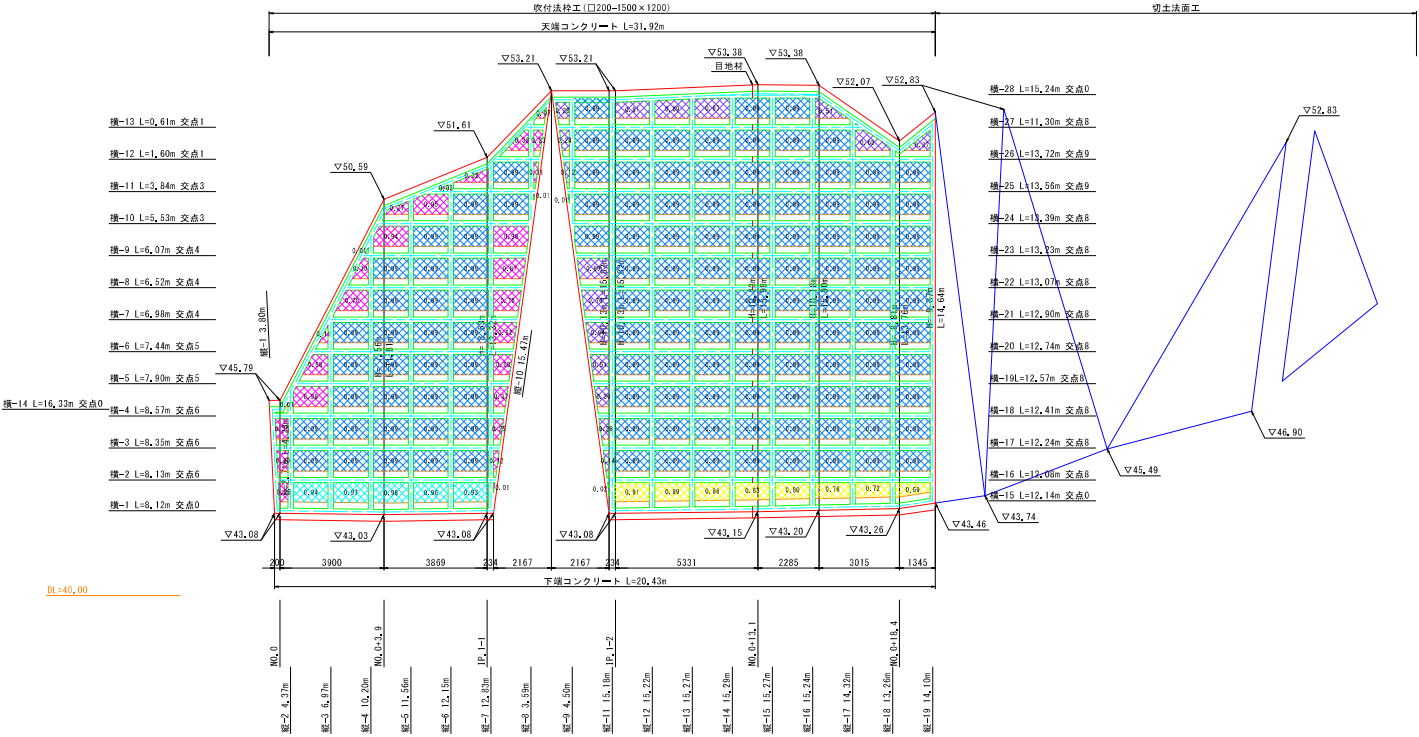
番号	面積(m2)	個数	面積(m2)
横11	0.11	1	0.11
横12	0.38	1	0.38
横12	0.23	1	0.23
横13	0.07	1	0.07
横15	0.02	1	0.02
横15	0.91	1	0.91
横15	0.89	1	0.89
横15	0.86	1	0.86
横15	0.83	1	0.83
横15	0.80	1	0.80
横15	0.76	1	0.76
横15	0.72	1	0.72
横15	0.59	1	0.59
横16	0.14	1	0.14
横16	0.99	8	7.92
横17	0.26	1	0.26
横17	0.99	8	7.92
横18	0.39	1	0.39
横18	0.99	8	7.92
横19	0.51	1	0.51
横19	0.99	8	7.92
横20	0.64	1	0.64
横20	0.99	8	7.92
横21	0.76	1	0.76
横21	0.99	8	7.92
横22	0.89	1	0.89
横22	0.99	8	7.92
横23	0.99	9	8.91
横24	0.01	1	0.01
横24	0.99	9	8.91
横25	0.12	1	0.12
横25	0.99	9	8.91
横26	0.24	1	0.24
横26	0.99	7	6.93
横26	0.68	1	0.68
横26	0.37	1	0.37
横27	0.28	1	0.28
横27	0.99	3	2.97
横27	0.81	1	0.81
横27	0.89	1	0.89
合計			106.23

桙内吹付面積 1段目

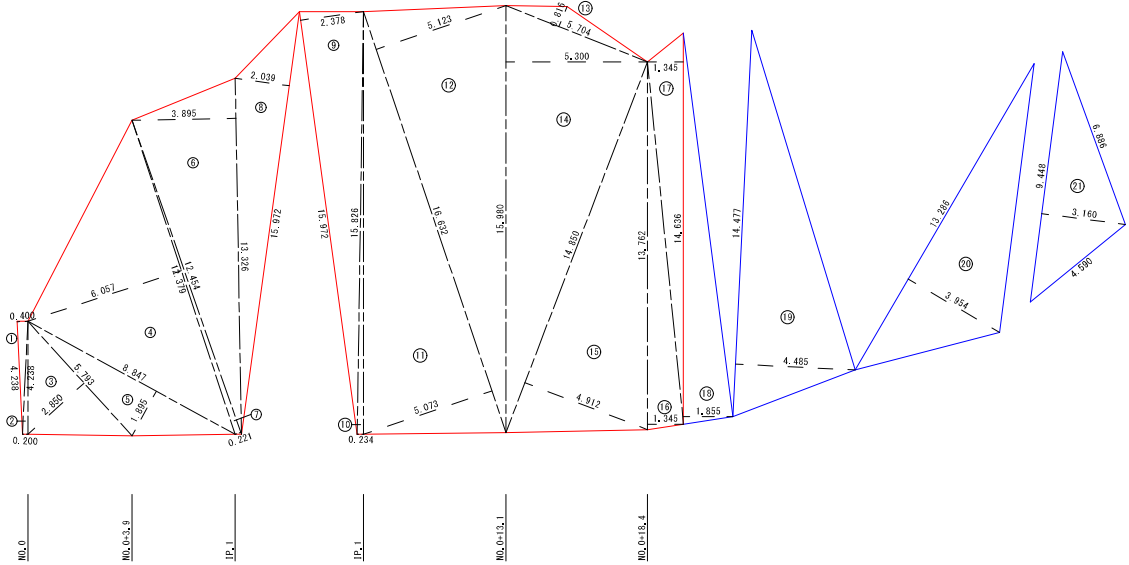
[illegible]

法面工展開図 S=1/100

枠内面積根拠図



DL=40.09



記号	底辺	高さ	倍面積 m
1	4.238	0.400	1.695
2	4.238	0.200	0.848
3	5.793	2.850	16.510
4	12.379	6.057	74.980
5	8.847	1.895	16.765
6	13.326	3.895	51.905
7	12.454	0.221	2.752
8	15.972	2.039	32.567
9	15.972	2.378	37.981
10	15.926	0.234	3.703
11	16.632	5.073	84.374
12	16.632	5.123	85.206
13	5.704	0.816	4.654
14	15.980	5.300	84.694
15	14.850	4.912	72.943
16	13.762	1.345	18.510
17	14.636	1.345	19.685
	倍面積 m		609.772
	面積 m		304.89

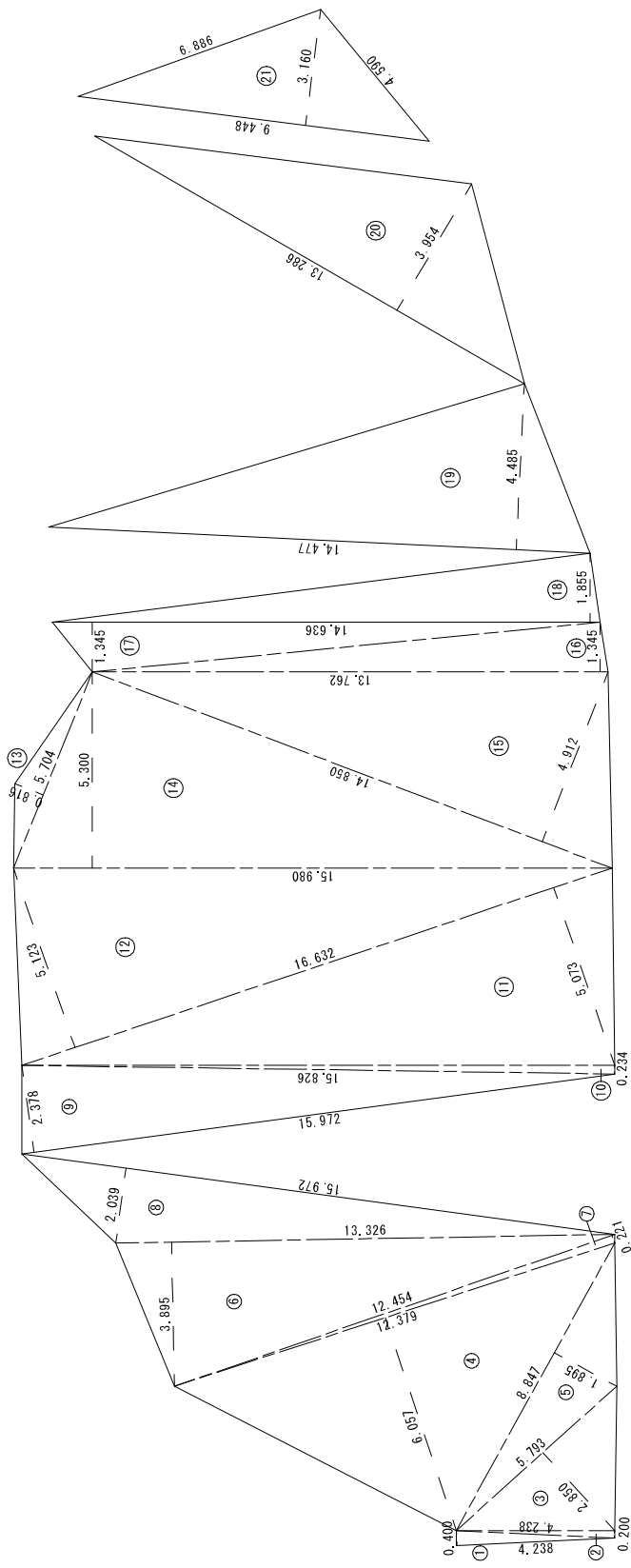
記号	底辺	高さ	倍面積 m
18	14.636	1.855	27.150
19	14.477	4.485	64.929
20	13.286	3.954	52.633
21	9.448	3.160	29.856
	倍面積 m		174.468
	面積 m		87.23

工事名	東谷地区小規模急傾斜地面域対策事業		
図名	法面工展開図 (其の)		
位置	西伯郡大山町名和		
縮尺	1:100	単位	M.MM
図号	全 11 葉中の内 6		
令和	年度施行		
	大 山 町		

植生工 数量計算

1. 植生基材吹付工(切土部, t=5cm)

A = 87.23 = 87.2 m2



NO.0+18.4

NO.0+13.1

1F.1

1F.1

NO.0+3.9

NO.0

記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
1	4.238	0.400	1.695
2	4.238	0.200	0.848
3	5.793	2.850	16.510
4	12.379	6.057	74.980
5	8.847	1.895	16.765
6	13.326	3.895	51.905
7	12.454	0.221	2.752
8	15.972	2.039	32.567
9	15.972	2.378	37.981
10	15.826	0.234	3.703
11	16.632	5.073	84.374
12	16.632	5.123	85.206
13	5.704	0.816	4.654
14	15.980	5.300	84.694
15	14.850	4.912	72.943
16	13.762	1.345	18.510
17	14.636	1.345	19.685
		倍面積 m ²	609.772
		面積 m ²	304.89

記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
18	14.636	1.855	27.150
19	14.477	4.485	64.929
20	13.286	3.954	52.533
21	9.448	3.160	29.856
		倍面積 m ²	174.468
		面積 m ²	87.23

張コンクリート工 数量計算

1. コンクリート ($\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$, $t=7\text{cm}$)

$$V = 24.7 \times 0.070 = 1.7 \text{ m}^3$$

2. 型枠

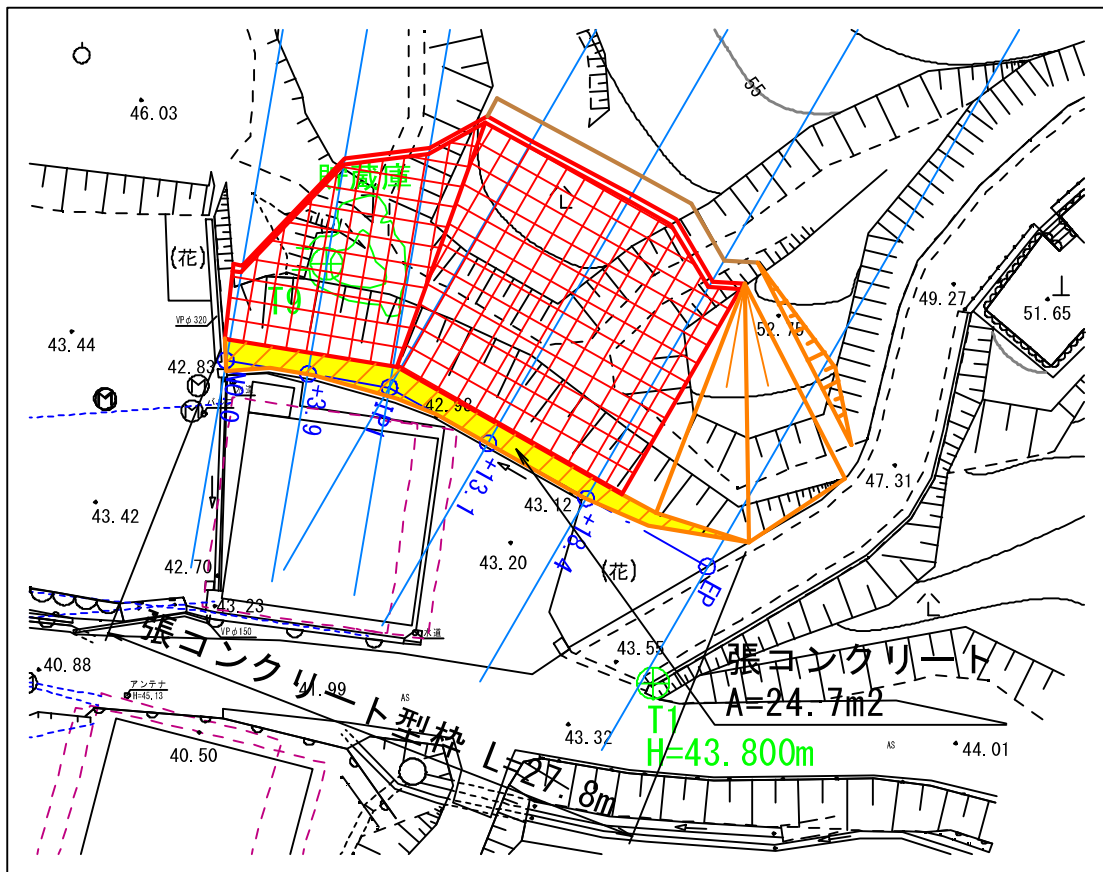
$$A = 27.8 \times 0.070 = 1.9 \text{ m}^2$$

3. 目地材 ($t=10\text{mm}$) 10mに1箇所程度

$$N = 27.8 / 10.00 = 2.0 \text{ 箇所}$$

$$W = 24.7 / 27.8 = 0.9 \text{ m}$$

$$A = 0.9 \times 0.070 \times 2.0 = 0.13 \text{ m}^2$$



3. 仮設工

仮設工数量集計表

(1/1)

[illegible]

土のうエ 数量計算

1. 土のう (H=1.00m)

A = 24.0 × 1.00 = 24.0 m2

2. 土のう積材料使用数量

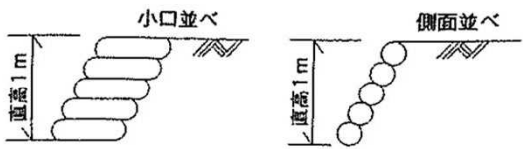
N = 24.0 × 17.0 = 408.0 袋

V = 408.0 × 0.02 = 8.2 m3

表2. 2 土のう積材料使用数量

規 格	袋数／㎡当り		詰土量・質量／袋	
	小口並べ	側面並べ	㎡／袋	kg／袋
62×48cm	17	14	0.02	40

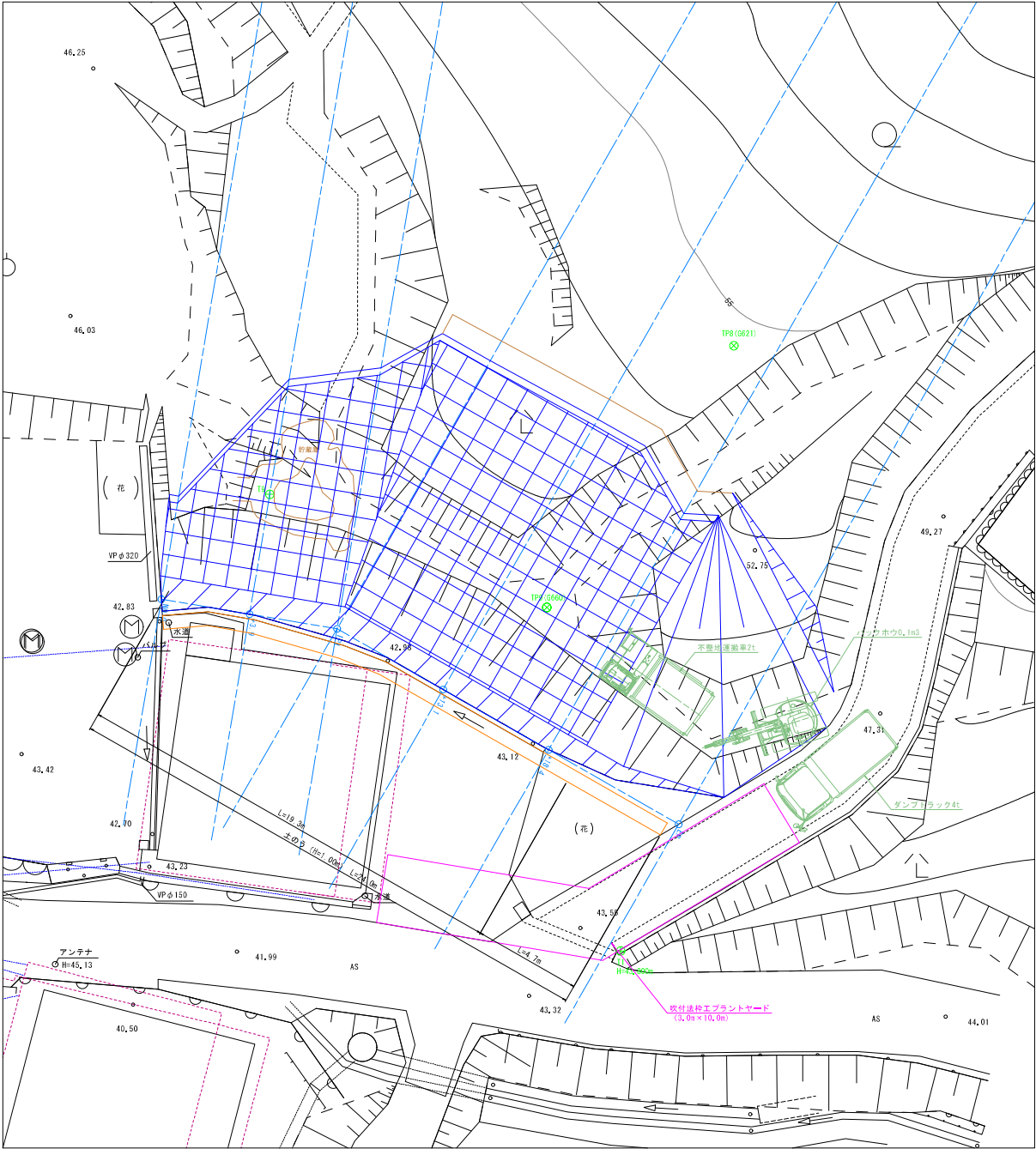
(注) 土のう袋数= 1 ㎡ 当り袋数×直高 (m) ×延長 (m)



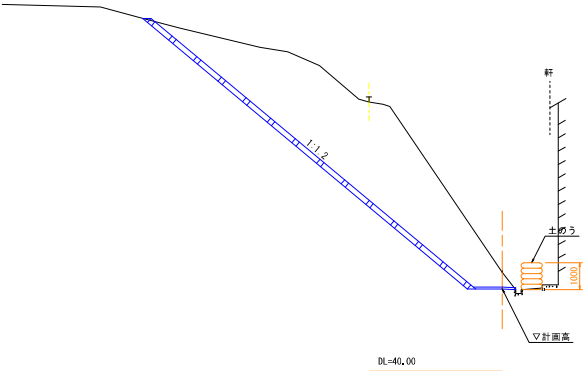
(注) 詰土量は地山土量とする。

仮設工計画図

仮設工計画平面図 S=1:100



仮設工標準断面図 S=1:100



工事名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業		
図 名	仮設工計画図 (其の)		
位 置	西伯郡大山町名和		
縮 尺	図示	単 位	M,MM
図 号	全 11 葉中の内 8		
令和	年度施行		
大 山 町			

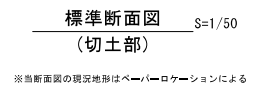
図 面 目 録									
図 面 名 称	縮 尺	枚数	図面番号	備 考	図 面 名 称	縮 尺	枚数	図面番号	備 考
平面図	1:500	1	1 / 11						
標準断面図	1:50	1	2 / 11						
横断面図 (1)	1:100	1	3 / 11						
横断面図 (2)	1:100	1	4 / 11						
横断面図 (3)	1:100	1	5 / 11						
法面工展開図	1:100	1	6 / 11						
現場打吹付法枠工詳細図	図 示	1	7 / 11						
仮設工計画図	図 示	1	8 / 11						
仮設工横断面図 (1)	1:100	1	9 / 11						
仮設工横断面図 (2)	1:100	1	10 / 11						
仮設工横断面図 (3)	1:100	1	11 / 11						
計						11	枚		

※縮小図面は、縮小しない縮尺を明記している

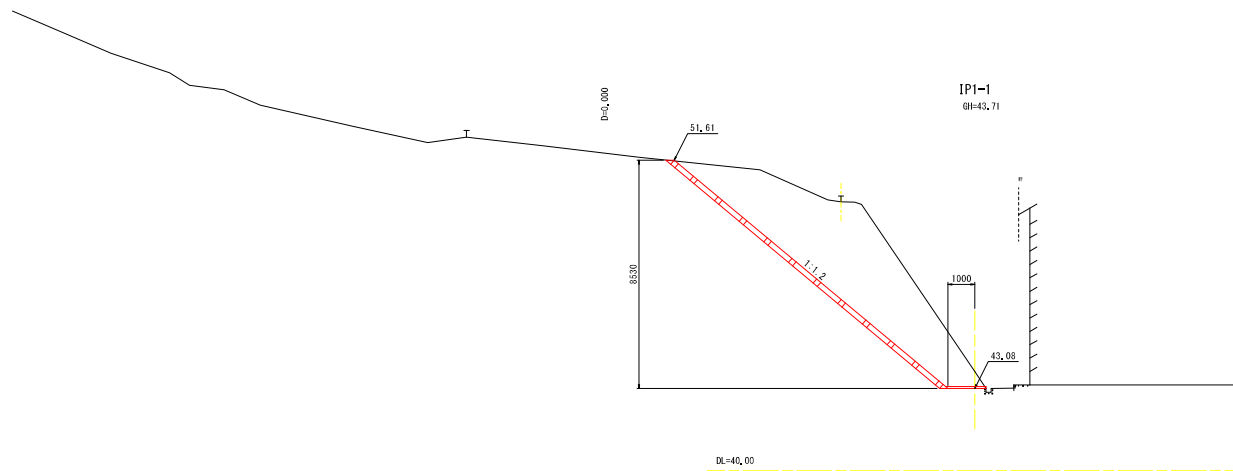


工事名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業			
図 名	平面図 (其の)			
位 置	西伯郡大山町名和			
縮 尺	1:500	単 位	M	
図 号	全 11 葉中の内 1			
令和	年度施行			
大 山 町				

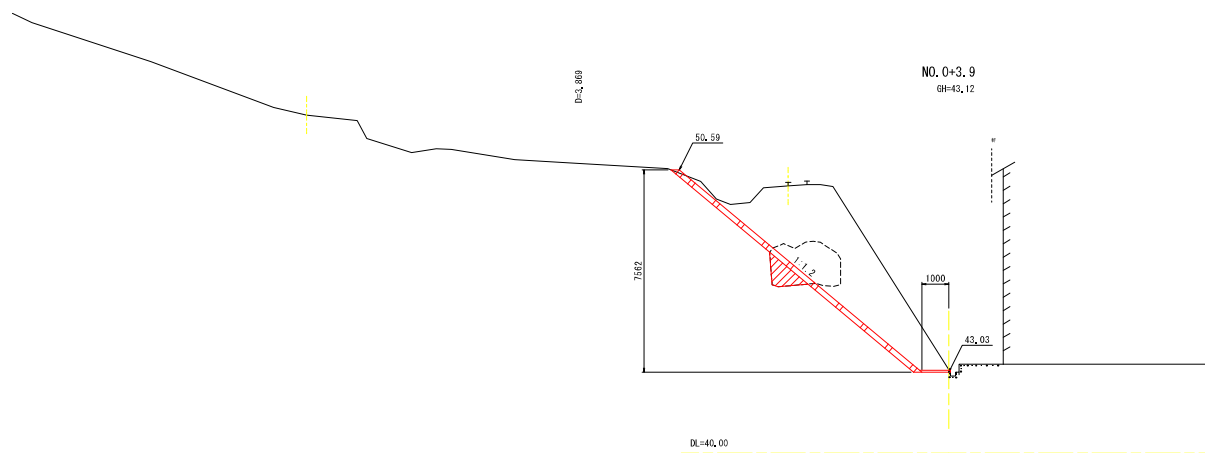
S=1/50



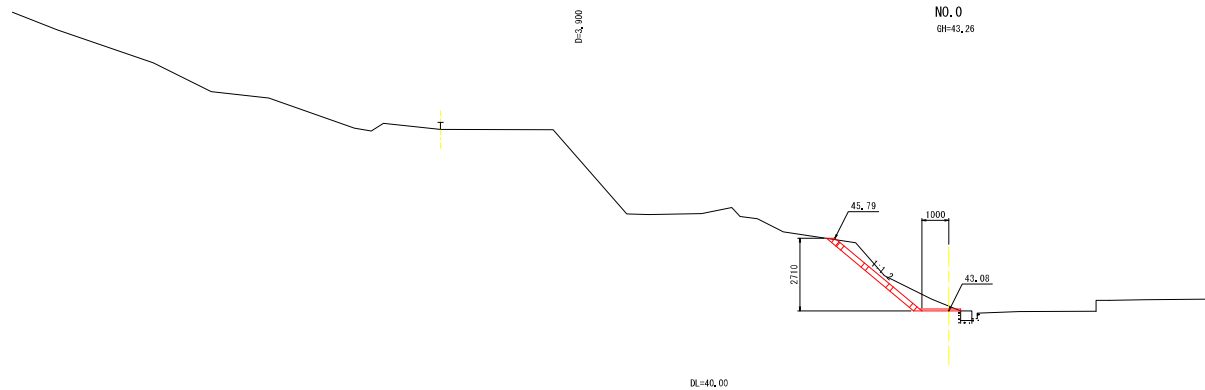
工事名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業		
図 名	標準断面図 (其の)		
位 置	西伯郡大山町名和		
縮 尺	1:50	単 位	M
図 号	全 11 葉の内 2		
令和	年度施行		
大 山 町			



工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	29,9



工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	22,5

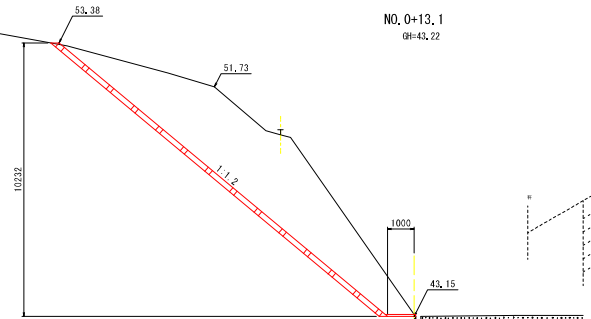


工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	2,3

NO. 0, NO. 0+3.9, IP1-1 1/3

工 事 名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業		
図 名	横断面図(Ⅰ) (其の		
位 置	西伯郡大山町名和		
縮 尺	1:100	単 位	M
図 号	全 11 葉中の内 3		
令和	年度施行		
大 山 町			

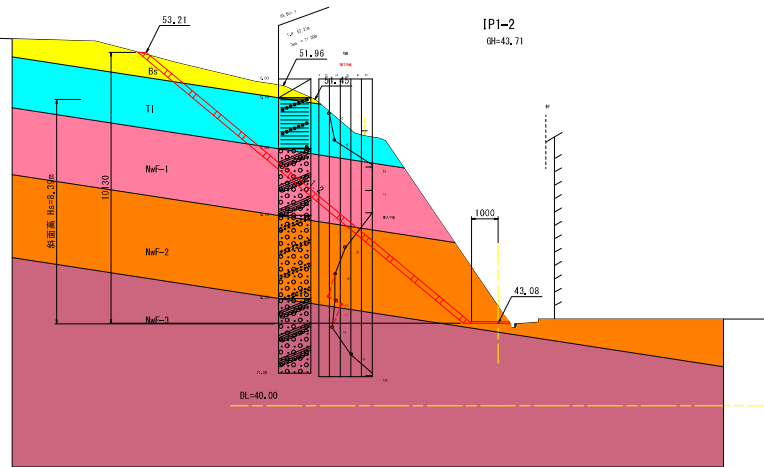
D=5,300



NO. 0+13.1
BH=43.22

工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	31.9

D=5,331



IP1-2
BH=43.71

工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	35.4

IP1-2, NO. 0+13.1 2/3

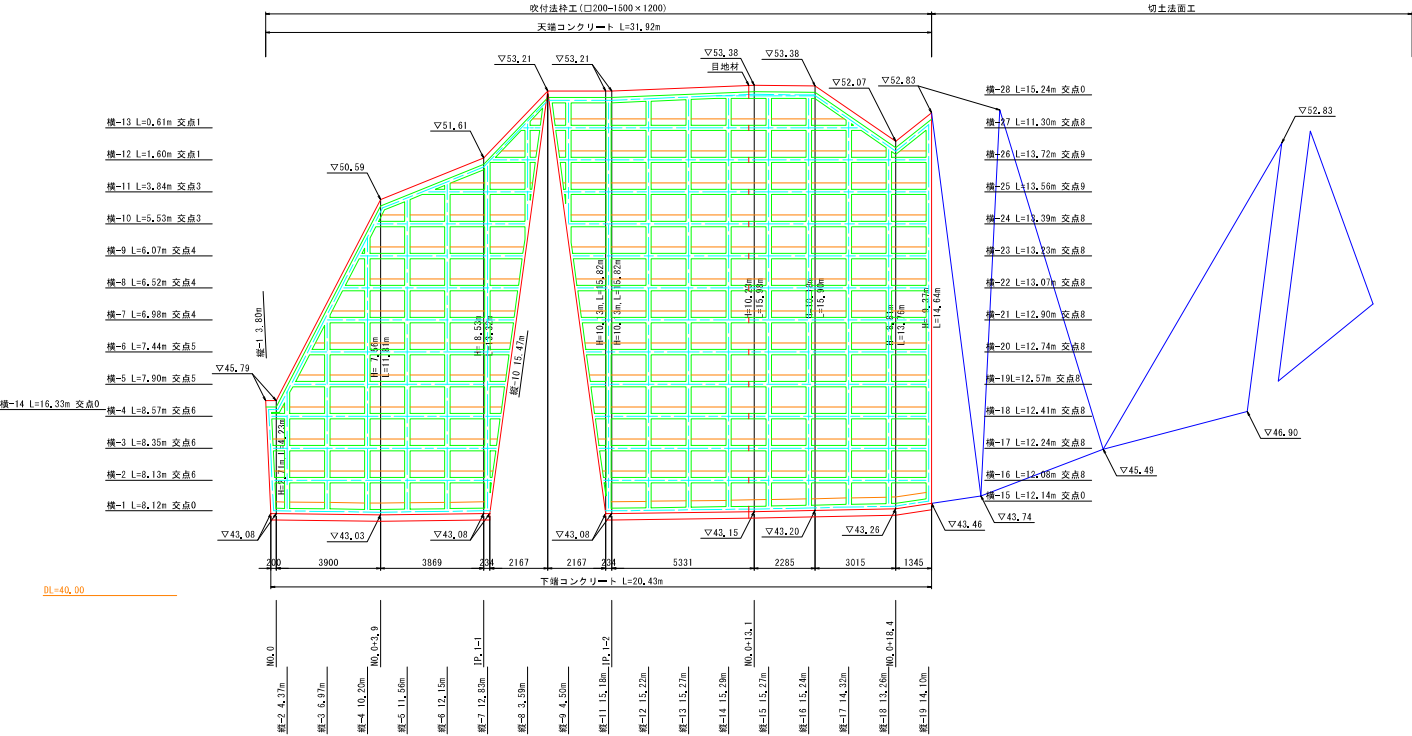
工事名	東谷地区小規模急傾斜地加増対策事業
図名	横断面図(2) (其の)
位置	西伯郡大山町名和
縮尺	1:100
単位	M
図号	全 11 葉中の内 4
令和	年度施行
大山町	

地質年代	記号	地層名	地層の範囲 (代表距離)	地層の範囲 (代表距離)	地層の範囲 (代表距離)	地層の範囲 (代表距離)	備考
更新世	Bs	黄土	-	17.00	18.00	0.04	25,0000 4,465300
更新世	T1	河床堆積層	10~15 (13)	16.00	18.00	1.30	25,0000 4,465300
更新世	Hwf-1	高砂火砕流堆積層 1	50 (50)	21.00	22.00	2.80	40,0000 6,829100
更新世	Hwf-2	高砂火砕流堆積層 2	8~25 (17)	15.00	20.00	16.87	20,0000 6,700200
更新世	Hwf-3	高砂火砕流堆積層 3	12~50 (24)	15.00	20.00	0.00	20,0000 6,700200

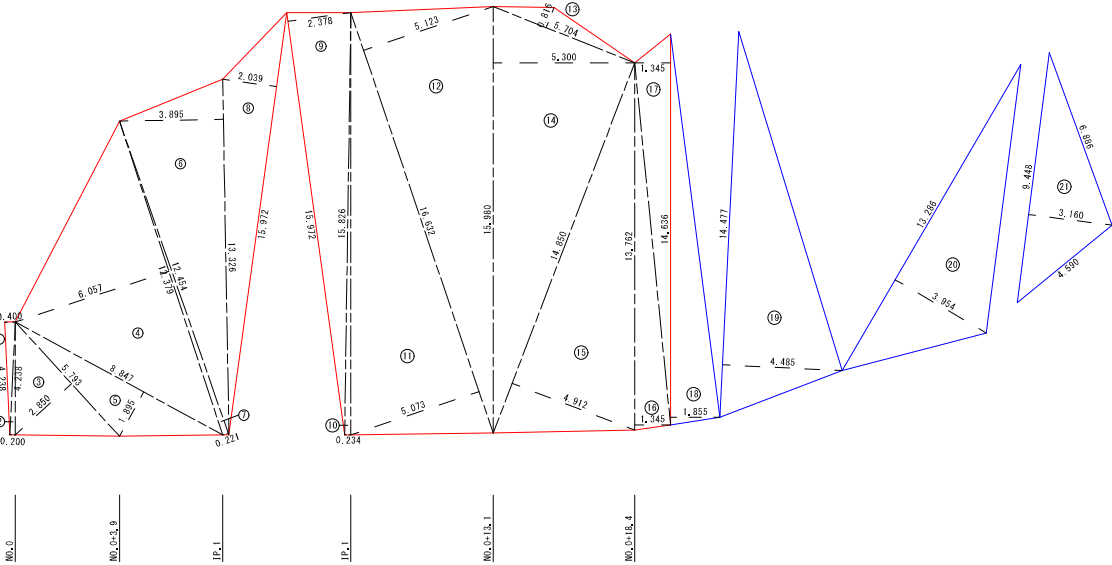
地質年代	記号	地層名	地層の範囲 (代表距離)	地層の範囲 (代表距離)	地層の範囲 (代表距離)	地層の範囲 (代表距離)	備考
更新世	Bs	黄土	-	17.00	18.00	0.04	25,0000 4,465300
更新世	T1	河床堆積層	10~15 (13)	16.00	18.00	1.30	25,0000 4,465300
更新世	Hwf-1	高砂火砕流堆積層 1	50 (50)	21.00	22.00	2.80	40,0000 6,829100
更新世	Hwf-2	高砂火砕流堆積層 2	8~25 (17)	15.00	20.00	16.87	20,0000 6,700200
更新世	Hwf-3	高砂火砕流堆積層 3	12~50 (24)	15.00	20.00	0.00	20,0000 6,700200



法面工展開図 S=1/100



BL=40.00



記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
1	4,238	0,400	1,695
2	4,238	0,200	0,848
3	5,793	2,850	16,510
4	12,379	6,057	74,980
5	8,847	1,895	16,765
6	13,326	3,895	51,905
7	12,454	0,221	2,752
8	15,972	2,039	32,567
9	15,972	2,378	37,981
10	15,826	0,234	3,703
11	16,632	5,073	84,374
12	16,632	5,123	85,206
13	5,704	0,816	4,654
14	15,980	5,300	84,694
15	14,850	4,912	72,943
16	13,762	1,345	18,510
17	14,636	1,345	19,685
		倍面積 m ²	609,772
		面積 m ²	304,89

記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
18	14,636	1,855	27,150
19	14,477	4,485	64,929
20	13,286	3,954	52,533
21	9,448	3,160	29,856
		倍面積 m ²	174,468
		面積 m ²	87,23

工事名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業		
図名	法面工展開図 (其の)		
位置	西伯郡大山町名和		
縮尺	1:100	単位	M,MM
図号	全 11 葉中の内 6		
令和	年度施行		
	大 山 町		

現場打吹付法枠工詳細図

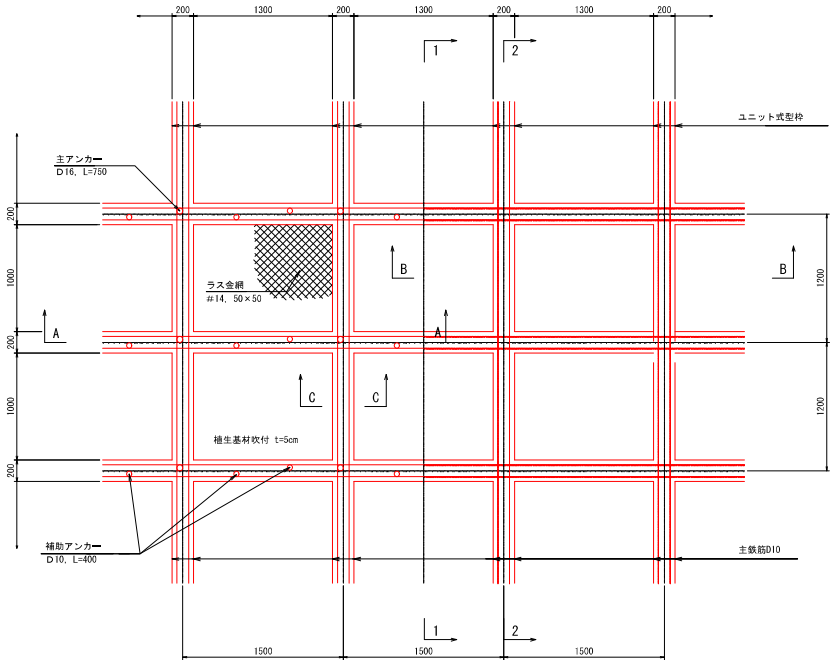
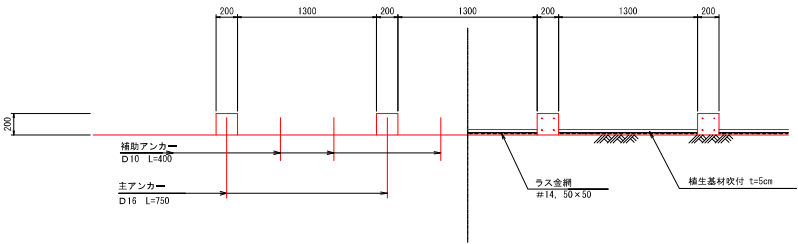
(□200-1, 200 × 1, 500)

詳細図

S=1:25

A-A断面図

B-B断面図



使用材料規格一覧表

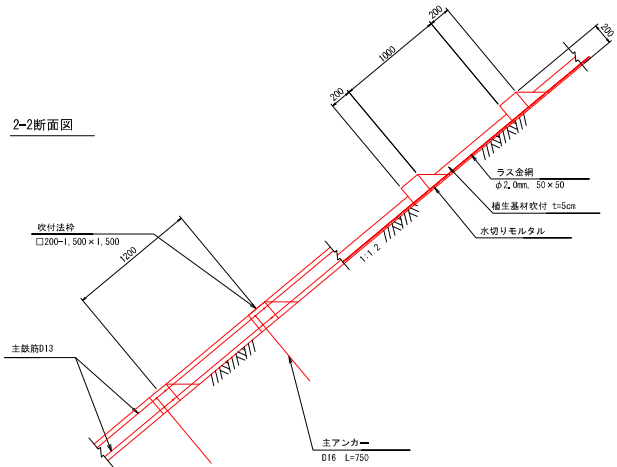
項目	規格
吹付モルタルの設計基準強度	$\sigma_{ck}=18 \text{ N/mm}^2$
主鉄筋	SD345, D13
主アンカー	SD345, D16, L=750
補助アンカー	SD345, D10, L=400

標準横断面図

S=1:25

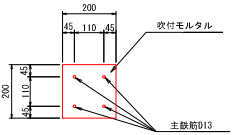
1-1断面図

2-2断面図



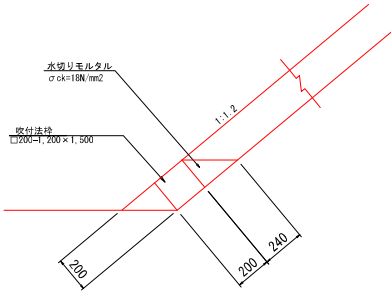
C-C断面図

S=1:10



水切りモルタル詳細図

S=1:15

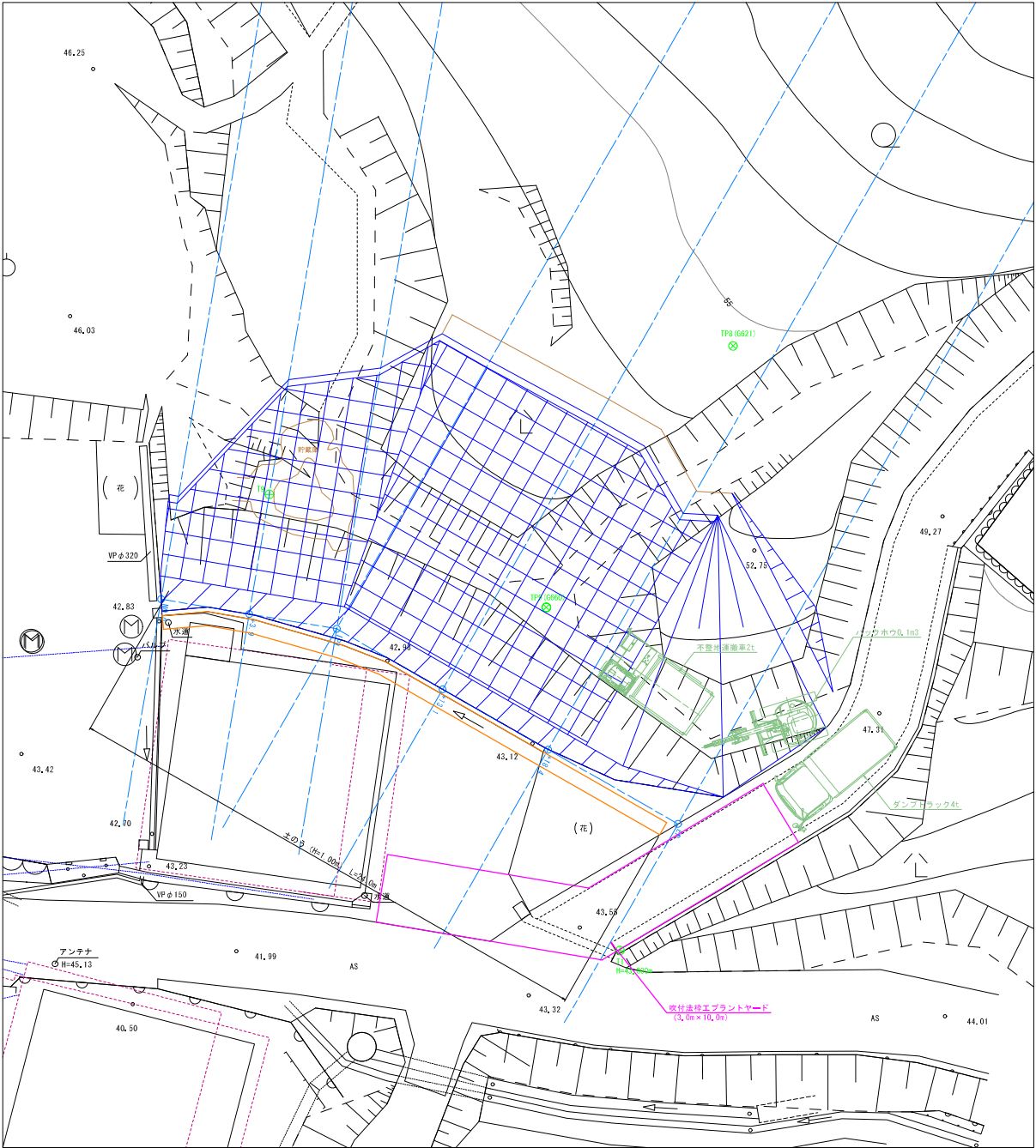


工事名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業
図名	現場打吹付法枠工詳細図 (其の)
位置	西伯郡大山町名和
縮尺	図示 単位 M, MM
図号	全 11 葉中の内 7
令和	年度施行
	大 山 町

仮設工計画図

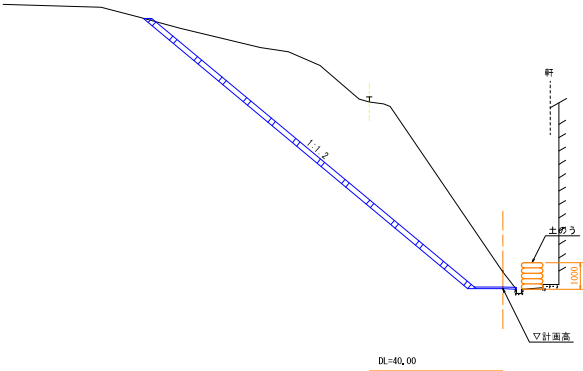
仮設工計画平面図

S=1:100

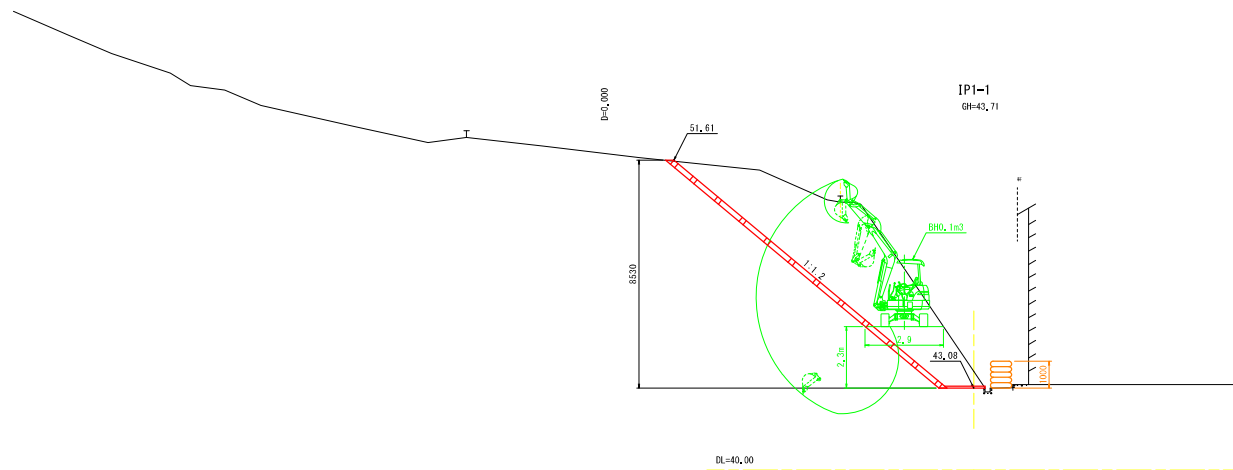


仮設工標準断面図

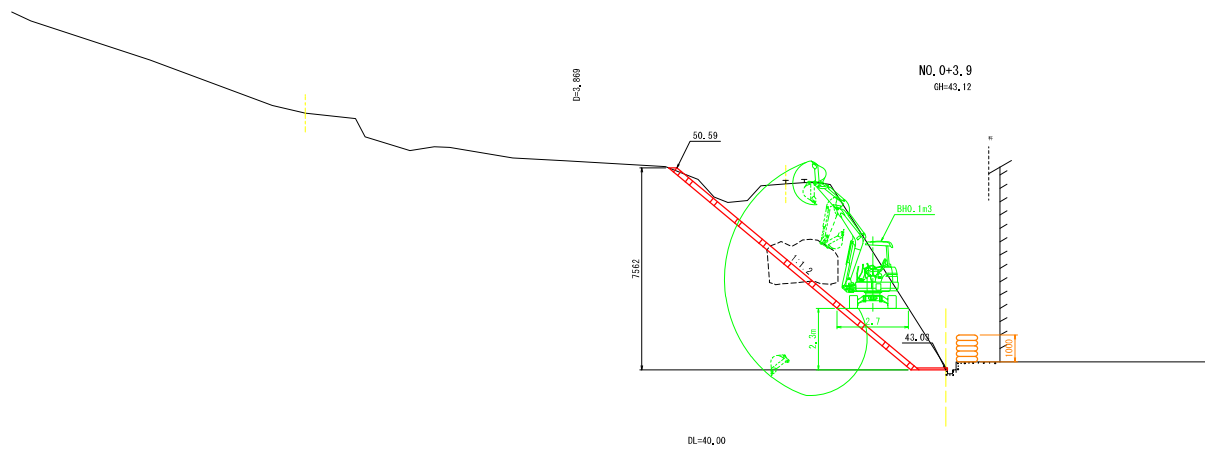
S=1:100



工事名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業		
図名	仮設工計画図 (其の)		
位置	西伯郡大山町名和		
縮尺	図示	単位	M, MM
図号	全 11	葉中の内	8
令和	年度施行		
	大 山 町		



工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	29.9



工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	22.5

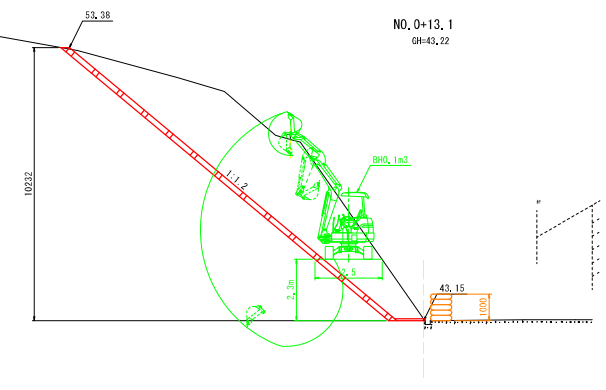


工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	2.3

NO, 0, NO, 0+3.9, IP1-1 1/3

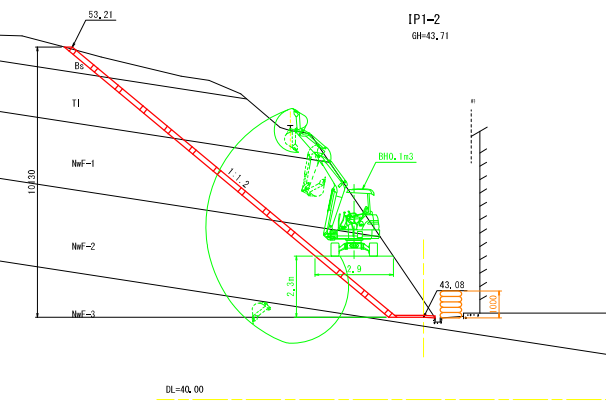
工 事 名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業		
図 名	仮設工横断面図(Ⅰ) (其の		
位 置	西伯郡大山町名和		
縮 尺	1:100	単 位	M
図 号	全 11 葉中の内		9
令和	年度施行		
大 山 町			

D=4,300



工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	31.9

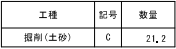
D=4,331



工種	記号	数量
掘削(土砂)	C	35.4

IP1-2, NO, 0+13.1 2/3

工事名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業		
図 名	仮設工横断面図(2)(其の)		
位 置	西伯郡大山町名和		
縮 尺	1:100	単 位	M
図 号	全 11 葉中の内 10		
令和	年度施行		
大 山 町			



NO. 0+18.4, EP 3/3

工事名	東谷地区小規模急傾斜地崩壊対策事業		
図 名	仮設工横断面図(3) (其の)		
位 置	西伯郡大山町名和		
縮 尺	1:100	単 位	M
図 号	全 11 葉中の内 11		
令和	年度施行		
大 山 町			